

# 福島県文化振興基本計画

～ふくしま文化元気創造プラン～の進行管理について



令和3年2月8日（月）

福島県文化スポーツ局

## 推進施策1 県民の文化活動の促進

県民の文化活動が促進されるよう各種施策に取り組みます。

- (1) 文化意識の醸成
- (2) 文化の振興を担う人材の育成
- (3) 文化活動への支援の充実

### 令和2年度の主な取組

【文化イベントの開催や優れた文化の紹介、新進・若手芸術家等への支援、文化活動の発表の機会の充実に関する取組】

#### ○ 第74回福島県総合美術展覧会（文化振興課）【570千円】

県内在住者及び県出身者から美術作品を公募し、一般に展覧することにより、本県美術の振興を図るとともに、優れた美術作品の鑑賞機会の拡充を図っています。

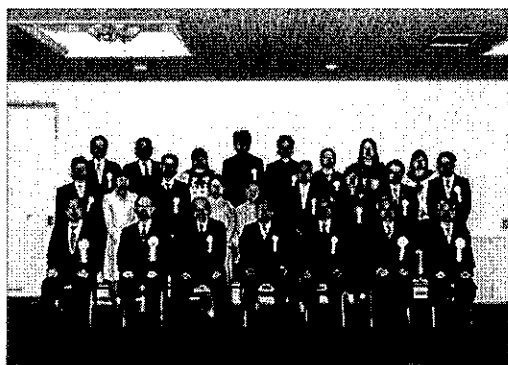
下記のとおり第74回展を開催することを予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から中止しました。

- 開催時期 令和2年6月12日（金）～21日（日）
- 開催場所 とうほう・みんなの文化センター（福島県文化センター）

#### ○ 第73回福島県文学賞（文化振興課）【4,016千円】

県民から文学作品を公募し、成果発表の場を提供するとともに、優秀作品を顕彰することにより、本県文学の振興及び文化の進展を図っています。（応募作品数：280点）

- 募集期間 令和2年4月24日（金）～7月31日（金）消印有効
- 部門 小説・ドラマ、エッセー・ノンフィクション、詩、短歌、俳句の5部門
- 県文学集 応募作品のうちの優秀作品を掲載した県文学集を発行（3月予定）



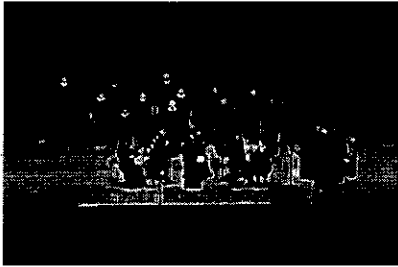
県文学賞表彰式

※ 表彰式は、福島県文化功労賞表彰式、文化・スポーツ知事感謝状贈呈式（令和2年11月3日（火・祝）、杉妻会館）と合同開催しました。

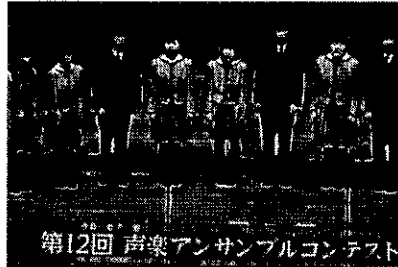
○ **第14回声楽アンサンブルコンテスト全国大会（文化振興課）【18,713千円】**

全国トップレベルの声楽アンサンブルグループによるコンテストを開催し、音楽文化の更なる発展を図るとともに、歌うことの楽しさや「合唱王国ふくしま」を全国に発信します。（第14回大会出演団体数：約110団体予定）

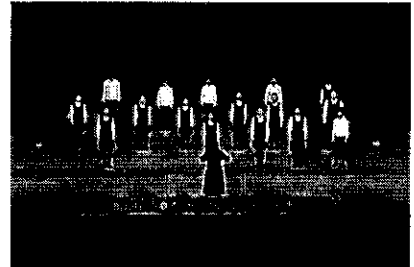
- **開催時期** 令和3年3月18日（木）～21日（日）
- **開催場所** ふくしん夢の音楽堂（福島市音楽堂）
- **部門** 中学校部門、高等学校部門、小学校・ジュニア部門、一般部門、本選



中学校部門



高等学校部門



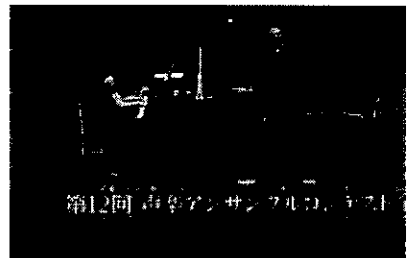
小学校・ジュニア部門



一般部門



本選表彰式



スペシャルコンサート

※第12回大会の様子（第13回大会は、新型コロナウイルスの影響で中止）

【地域資源を再発見する取組みの支援、文化活動を支え応援する意識の醸成、ボランティア、NPO等の活動機会の充実にに関する取組】

○ **アートによる新生ふくしま交流事業（文化振興課）【13,123千円】**

- **アートで広げるみんなの元気プロジェクト**

震災等被害が大きかった浜通り地方を中心に、芸術家とともに地域資源を活用したワークショップ及び会津地方の文化資源を学ぶ学校連携ワークショップを実施し、地域の人々との交流を図っています。

また、完成した作品は、地域の文化施設等と連携して、展示公開しています。

- **開催時期** [WS] 11月～2月  
[展示] 1月～2月
- **開催場所** [WS] 福島市市民活動サポートセンター（福島市）など  
[展示] 野馬追通り銘醸館（南相馬市）など

□ 参加アーティスト (WS名)

- 山崎エリナ氏 (まちの変化を感じる・撮る・そして未来を語る)
- 春野修二氏 (見つけたもので不思議な生き物)
- 渡邊晃一氏  
(私たちの「大地」を描くーふくしまの地形から学ぶ・想像する・描く)
- 太田隆明氏 (木版画で描くふくしまの風景～私に元気をくれる場所～)
- 和合亮一氏 (街の散策から紡ぎ出す詩のムービーづくり)
- 小池アミイゴ氏 (アトリエしょうわのこども～しょうわの子だま)



見つけたもので不思議な生き物



木版画で描くふくしまの風景  
～私に元気をくれる場所～

● アートで広げる子どもの未来プロジェクト

福島未来を担う子どもたちの心豊かな成長と創造する場を提供するため、県立美術館と連携して、学校等に芸術家を招きワークショップを実施しています。

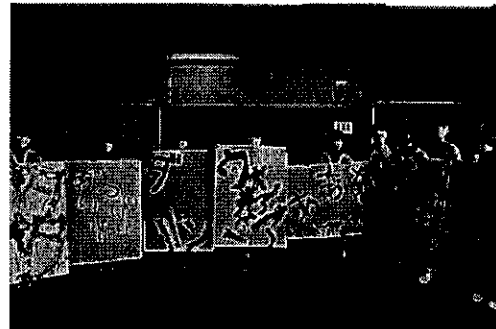
また、完成した作品は、地域の文化施設と連携して、展示公開しています。

- 開催日 [WS] 9月～11月  
[展示] 1月
- 場所 [WS] 県内小中学校など  
[展示] 福島市子どもの夢を育む施設こむこむ
- 参加アーティスト (WS名)

- Naomi Horiike 氏 (絵の中を泳ぐ)
- FRIDAY SCREEN (音・色・かたち)



絵の中を泳ぐ



音・色・かたち

【生涯学習における学習機会の充実に関する取組】

○ **県民カレッジ推進事業（生涯学習課）【予算なし】**

県民の多様な学習ニーズや学習活動の広域化に対応していくため、県・市町村・大学等高等教育機関、民間教育機関等が連携・協力し、県民が主体的、継続的に学習活動に取り組めるよう、生涯学習に関する情報や学習機会を提供しています。

● 令和元年度実績

県民カレッジ連携講座（受講生の対象地域を1市町村に限定しないで、他市町村の住民も参加できる講座）を県HPや「夢まな情報BOX」（ヨークベニマル等）で情報提供しています。

- 講座数 354講座
- 参加者数 179,399人

【文化活動のリーダー等の養成の確保、被災地域の民俗芸能等の継承への支援、公益財団法人福島県文化振興財団による支援事業の充実、文化団体の活性化の促進、若者などの文化芸術活動等の促進に関する取組】

○ **福島県文化活動継続支援事業（文化振興課）【22,000千円】**

公益財団法人福島県文化振興財団に対し、文化団体及び個人が感染症対策を講じながら実施する文化活動へ助成した経費を補助し、新型コロナウイルス感染症の影響により活動自粛を余儀なくされた文化活動の継続を支援しています。

○ **新型コロナウイルス感染症対応助成事業（公益財団法人福島県文化振興財団）**  
《上記事業22,000千円の内数》

県民の文化活動が自主的に活発に推進されるよう、個人または文化団体等の活動を援助・奨励し、本県文化の普及、向上、保存を図っています。

【助成対象事業】

感染症対策を講じながら実施する文化活動の成果発表事業 ほか

○ **助成事業（公益財団法人福島県文化振興財団）** 《助成内示額10,055千円》

県民の文化活動が自主的に活発に推進されるよう、個人または文化団体等の活動を援助・奨励し、本県文化の普及、向上、保存を図っています。

【助成対象事業】

文化活動の成果発表事業 ほか

【被災地域の民俗芸能等の継承への支援に関する取組】

○ **「地域のたから」民俗芸能総合支援事業（文化振興課 ※詳細は21頁）**  
【21,074千円】

存続の危機にある民俗芸能の継承・発展のため、公演の機会を提供するとともに、民俗芸能団体の実情に応じた専門家の派遣など総合的な支援を行っています。

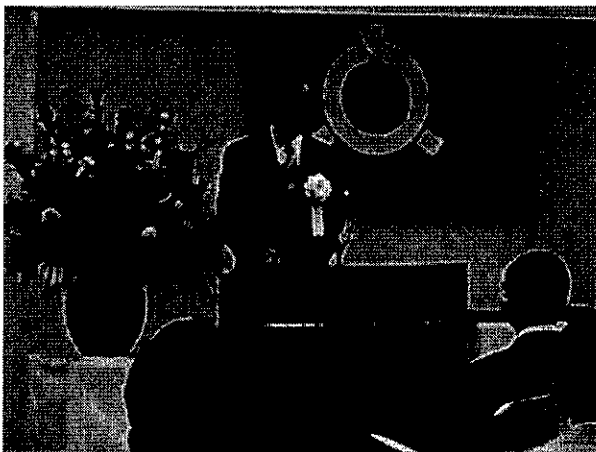
【顕彰制度の充実に関する取組】

○ **福島県文化功労賞表彰（文化振興課）【1,486千円】**

本県の文化の振興・発展を図るため、多年にわたり本県文化の向上に著しい業績を表した個人を表彰しています。

[令和2年度受賞者]

- 芸術（美術） 酒井昌之氏（伊達市 福島県美術協会会長）
- 芸術（美術） 鈴木重男氏（国見町 元福島県写真連盟会長）



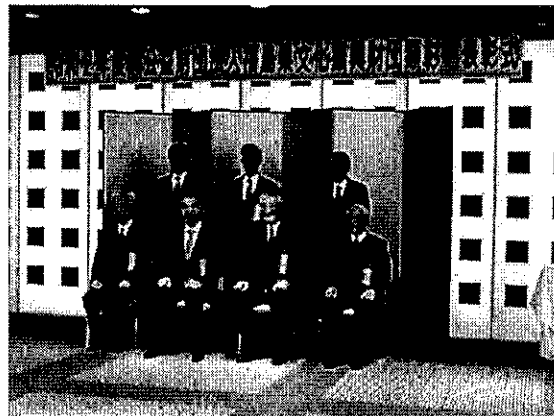
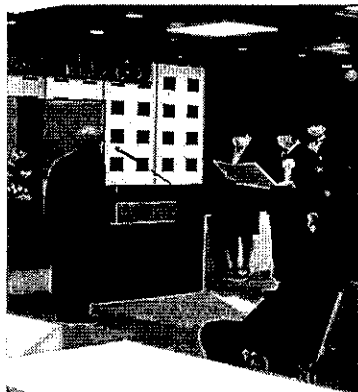
※表彰式は、福島県文学賞表彰式、文化・スポーツ知事感謝状贈呈式（令和2年11月3日（火・祝）、杉妻会館）と合同開催しました。

○ **顕彰事業（公益財団法人福島県文化振興財団）**

県民の文化活動が自主的に活発に推進されるよう、個人又は文化団体等の活動を援助・奨励し、本県文化の普及、向上、保存を図っています。

[顕彰対象者]

文化活動に関し優れた成果を収め、本県文化の普及、向上、保存及び伝承に貢献した個人又は団体



【国・民間団体等の助成制度や企業等の文化支援活動の活用に関する取組】

○ **文化芸術による子供育成総合事業（文化庁）** [窓口：文化振興課、ふくしま文化芸術による子供の育成事業実行委員会]

● **巡回公演事業**

小学校・中学校等において一流の文化芸術団体による巡回公演を行うことにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成を図っています。

- 公演団体数 仙台フィルハーモニー管弦楽団ほか 13 団体
- 県内小中学校及び特別支援学校参加総数 51 校
- 実施市町村数 18 市町村

● **芸術家の派遣事業**

個人又は少人数の芸術家を小学校・中学校等へ派遣し、講話・実技披露、実技指導を行うことにより、子供たちの創造力、思考力などの能力の育成を図っています。

- 派遣講師数（実数） 11 名
- 県内小中学校及び特別支援学校参加総数 44 校
- 実施市町村数 17 市町村

● **芸術家の派遣事業** [東日本大震災復興支援対応]

東日本大震災により甚大な被害を受けた岩手県、宮城県、福島県を中心とした東日本大震災の被災地に、個人又は少人数の芸術家を保育園や小中学校等へ派遣し、コンサートや講話、実技披露や実技指導を実施しています。

- 派遣講師等数 延べ 22 名
- 県内保育園、小中学校及び特別支援学校参加総数 58 校
- 実施市町村数 22 市町村

【文化活動の発表機会の充実にに関する取組】

○ **第59回福島県芸術祭（文化振興課）**【232千円】

県民による文化の公演発表等の促進、県民への芸術鑑賞機会の提供及び芸術文化団体等の活動促進を目的として開催し、もって本県における芸術文化の振興を図っています。

（参加行事数：38 行事）

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、多くの行事が中止となりました。

開幕式典・開幕行事も中止とし、開幕宣言を無観客で開催、その模様をライブ配信しました。

○ **第4回福島県障がい者芸術作品展（障がい福祉課）【3,353千円】**

福島県障がい者芸術作品展「きになる☆ひょうげん2020」を開催し、芸術作品の創作を通じた障がい者の社会参加の促進と障がい者への理解促進を図ります。

- 開催期間 令和2年11月21日（土）～令和3年1月17日（日）
- 場所 はじまりの美術館（猪苗代町）
- 出品数 387点



「きになった」作品を投票



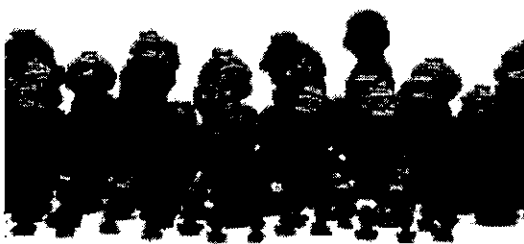
審査員トークイベント

※第3回福島県障がい者芸術作品展「きになる☆ひょうげん2019」の様子

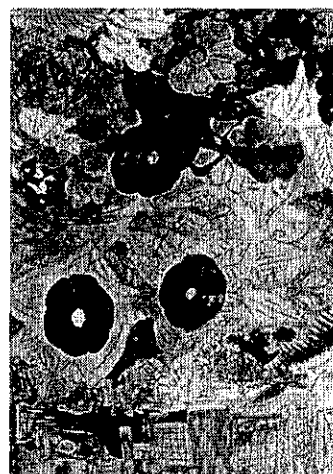
○ **とりどりのアート事業（障がい福祉課）【10,000千円】**

芸術文化関係団体、報道機関、行政機関等による実行委員会形式で事業を展開します。

県内外のオール・ブリュット作品をホームページ上で展示する仮想美術館を開催するとともに、新聞等の広報媒体を活用するなど、障がい者芸術を身近なものとして捉えてもらいながら障がい者への県民の理解促進を図ります。



作者：山際正己（滋賀県）



作者：青木尊（福島県）

ホームページ掲載作品（予定）



【文化施設等における成果発表の場の拡充に関する取組】

○ 福島県文化センターの管理運営（文化振興課）【579,625千円】

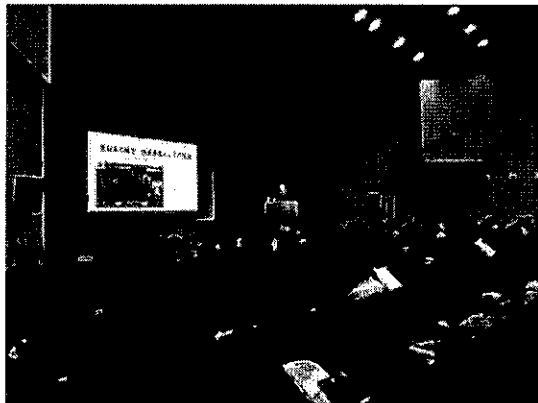
県民の芸術及び文化の振興を図るために設置した福島県文化センターの維持管理、芸術の振興に資する事業を支援しています。（施設の維持・管理運営事業、利用料金免除補助事業、施設整備事業）



狂言公演



子どもフェスタ



読み直すふくしまの歴史講演会

## 指標の進捗状況

指標名	計画策定時の 現状値	直近値	目標値
県民カレッジ受講者数 ※ 令和2年2月開催の生涯学習 審議会で目標値修正 (110,000人→200,000人)	H23年度 54,532人 【参考】 H22年度 82,633人	R元年度 179,399人	R2年度 200,000人
学術・文化・芸術・スポーツを 活動分野のひとつとしているN P Oの認証数	H24年度 289団体 【参考】 H23年度 265団体	R2年度 424団体 (R2.11.30現在)	R2年度 470団体以上
福島県芸術祭参加行事数	H24年度 72行事 【参考】 H22年度 81行事	R2年度 38行事	R2年度 108行事以上

## 令和3年度の取組予定

- 第75回福島県総合美術展覧会（文化振興課）【15,770千円】
- 第74回福島県文学賞（文化振興課）【4,046千円】
- 第15回声楽アンサンブルコンテスト全国大会（文化振興課）【19,278千円】
- アートによる新生ふくしま交流事業（文化振興課）【16,201千円】
- 県民カレッジ推進事業（生涯学習課）【予算なし】
- 助成事業（公益財団法人福島県文化振興財団）
- 「地域のたから」民俗芸能総合支援事業（文化振興課）【20,356千円】
- 福島県文化功労賞表彰（文化振興課）【1,510千円】
- 顕彰事業（公益財団法人福島県文化振興財団）
- 文化芸術による子供育成総合事業（文化庁）
- 第60回福島県芸術祭（文化振興課）【1,000千円】
- 第5回福島県障がい者芸術作品展（障がい福祉課）
- とりどりのアート事業（障がい福祉課）
- 福島県文化センターの管理運営（文化振興課）【321,278千円】

## 推進施策2 芸術の鑑賞その他文化に接する機会の充実

県民が身近なところで容易に文化に接することができる機会を拡充します。

- (1) 優れた文化芸術に親しむ機会の充実
- (2) 文化情報の収集・提供

### 令和2年度の主な取組

【文化施設における鑑賞機会の充実に関する取組】

#### ○ 企画展開催事業（社会教育課）【103,579千円】

県立美術館及び県立博物館において、特別なテーマによる企画展を開催し、一般の観覧に供しています。

##### ● 県立美術館

- ブダペスト国立工芸美術館名品展  
令和2年3月24日（火）～4月18日（土）
- 大津絵展  
令和2年5月19日（火）～6月28日（日）
- 近現代版画の名作2020  
令和2年7月11日（土）～8月30日（日）
- 移動美術館 福島県立美術館の名画たち（小峰城歴史館）  
令和2年9月12日（土）～11月8日（日）
- 移動美術館 世界の名作展（喜多方市美術館）  
令和2年10月18日（日）～11月17日（火）

##### ● 県立博物館

- ふくしまの旅  
令和2年5月16日（土）～6月28日（日）
- 会津のSAMURAI文化  
令和2年8月1日（土）～9月22日（火・祝）
- 発掘された日本列島  
令和2年10月10日（土）～11月15日（日）
- 震災遺産を考える  
令和3年1月16日（土）～3月21日（日）

#### ○ 第74回福島県総合美術展覧会【再掲】（文化振興課）【570千円】

県内在住者及び県出身者から美術作品を公募し、一般に展覧することにより、本県美術の振興を図るとともに、優れた美術作品の鑑賞機会の拡充を図っています。

※ 令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止しました。

#### ○ 第14回声楽アンサンブルコンテスト全国大会【再掲】（文化振興課）【18,713千円】

全国トップレベルの声楽アンサンブルグループによるコンテストを開催し、音楽文化の更なる発展を図るとともに、歌うことの楽しさや「合唱王国ふくしま」を全国に発信します。（第14回大会出演団体数：約110団体（予定））

○ **第59回福島県芸術祭〔再掲〕（文化振興課）【232千円】**

県民による文化の公演発表等の促進、県民への芸術鑑賞機会の提供及び芸術文化団体等の活動促進を目的として開催し、もって本県における芸術文化の振興を図っています。  
（参加行事数：38行事）

○ **第4回福島県障がい者芸術作品展〔再掲〕（障がい福祉課）【3,353千円】**

福島県障がい者芸術作品展を開催し、芸術作品の創作を通じた障がい者の社会参加の促進と障がい者への理解促進を図ります。

○ **とりどりのアート事業（障がい福祉課）【10,000千円】**

芸術文化関係団体、報道機関、行政機関等による実行委員会形式で事業を展開します。  
県内外のアール・ブリュット作品をホームページ上で展示する仮想美術館を開催するとともに、新聞等の広報媒体を活用するなど、障がい者芸術を身近なものとして捉えてもらいながら障がい者への県民の理解促進を図ります。

【文化施設における鑑賞機会の充実、文化施設における参加・体験型事業の充実、文化振興財団の事業による文化芸術に親しむ機会等の充実に関する取組】

○ **福島県文化センターの管理運営〔再掲〕（文化振興課）【579,625千円】**

県民の芸術及び文化の振興を図るために設置した福島県文化センターの維持管理、芸術の振興に資する事業を支援しています。（施設の維持・管理運営事業、利用料金免除補助事業、施設整備事業）

○ **ふくしま海洋科学館（アクアマリンふくしま）の管理運営（生涯学習課）【435,806千円】**

海に関する文化・科学の学習機会を提供するための拠点施設として設置したふくしま海洋科学館（アクアマリンふくしま）の維持管理、展示資料等の更新に資する事業を支援しています。（施設の維持・管理運営事業、利用料金免除補助事業、施設修繕事業）

【芸術家や文化団体等と学校等との連携の促進に関する取組】

○ **アートによる新生ふくしま交流事業〔再掲〕（文化振興課）【13,123千円】**

地域の活性化や子どもたちの心豊かな成長を図るため、地域住民や子どもたちが交流しながらアート事業を実施し、元気な福島を発信しています。

【文化イベントや文化団体・施設等の情報収集・提供の充実、文化振興財団による情報のネットワークの構築等に関する取組】

○ **文化情報発信の推進（公益財団法人福島県文化振興財団）**

インターネット・ホームページ等により、文化センターのコンサート・講演・講座・企画展・資料展・ワークショップなどの情報、その他県内の文化イベントの情報を発信しています。

## 指標の進捗状況

指標名	計画策定時の 現状値	直近値	目標値
県立美術館の入館者数	H23年度 103,960人 【参考】 H22年度 140,366人	R元年度 167,502人	R2年度 120,000人以上
県立博物館の入館者数	H23年度 82,048人 【参考】 H22年度 95,556人	R元年度 105,439人	R2年度 100,000人以上
福島県文化センターの入館者数	H23年度 62,929人 【参考】 H22年度 314,413人	R元年度 304,275人	R2年度 345,800人以上
アクアマリンふくしまの入館者数	H23年度 258,244人 【参考】 H22年度 861,326人	R元年度 533,459人	R2年度 900,000人以上
まほろんの入館者数	H23年度 22,528人 【参考】 H22年度 28,231人	R元年度 23,679人	R2年度 30,000人以上

## 令和3年度の取組予定

- 企画展開催事業（教育庁社会教育課）【97,928千円】  
県立美術館では、「ミネアポリス美術館日本絵画名品展」、「THEドラえもん展FUKUS HIMA2021」、「瀬戸正人展」、「福島の若手2022展」、「岩合光昭展」を、また県立博物館では、「会津の絵画」、「あはひのクニ あやかしのクニ～福島・東北の妖怪・幽霊・怪異～」、「ふくしまのわらの文化」を開催する。
- 第75回福島県総合美術展覧会〔再掲〕（文化振興課）【15,770千円】
- 第15回声楽アンサンブルコンテスト全国大会〔再掲〕（文化振興課）【19,278千円】
- 第60回福島県芸術祭〔再掲〕（文化振興課）【1,000千円】
- 第5回福島県障がい者芸術作品展〔再掲〕（障がい福祉課）
- とりどりのアート事業〔再掲〕（障がい福祉課）
- 福島県文化センターの管理運営〔再掲〕（文化振興課）【321,278千円】
- ふくしま海洋科学館（アクアマリンふくしま）の管理運営（生涯学習課）【531,036千円】
- アートによる新生ふくしま交流事業〔再掲〕（文化振興課）【16,201千円】
- 文化情報発信の推進（公益財団法人福島県文化振興財団）

## 推進施策3 青少年の文化活動の促進

青少年が身近な地域や学校において、その地域で育まれてきた文化をはじめ多彩な文化に接する機会を拡充するとともに、積極的、主体的に文化活動ができるよう環境の整備を図ることにより、青少年の文化活動を促進します。

- (1) 発表機会と鑑賞機会の充実
- (2) 学校教育等における文化活動の促進

### 令和2年度の主な取組

【青少年の文化活動の発表の機会の充実、青少年の文化芸術の鑑賞機会の充実、青少年の参加体験型事業の充実、青少年と文化団体等との交流に関する取組】

○ **第74回福島県総合美術展覧会【再掲】（文化振興課）【570千円】**

県内在住者及び県出身者から美術作品を公募し、一般に展覧することにより、本県美術の振興を図るとともに、優れた美術作品の鑑賞機会の拡充を図っています。

○ **第73回福島県文学賞【再掲】（文化振興課）【4,016千円】**

県民から文学作品を公募し、成果発表の場を提供するとともに、優秀作品を顕彰することにより、本県文学の振興及び文化の進展を図っています。

（青少年の応募作品数：69点）

○ **第14回声楽アンサンブルコンテスト全国大会【再掲】（文化振興課）【18,713千円】**

全国トップレベルの声楽アンサンブルグループによるコンテストを開催し、音楽文化の更なる発展を図るとともに、歌うことの楽しさや「合唱王国ふくしま」を全国に発信しています。（第14回大会出演団体数：約110団体（予定））

○ **第59回福島県芸術祭【再掲】（文化振興課）【232千円】**

県民による文化の公演発表等の促進、県民への芸術鑑賞機会の提供及び芸術文化団体等の活動促進を目的として開催し、もって本県における芸術文化の振興を図っています。

（参加行事数：38行事）

○ **アートによる新生ふくしま交流事業【再掲】（文化振興課）【13,123千円】**

地域の活性化や子どもたちの心豊かな成長を図るため、地域住民や子どもたちが交流しながらアート事業を実施し、元気な福島の姿を発信しています。

○ **福島県文化センターの管理運営〔再掲〕（文化振興課）【579,625千円】**

県民の芸術及び文化の振興を図るために設置した福島県文化センターの維持管理、芸術の振興に資する事業を支援しています。（施設の維持・管理運営事業、利用料金免除補助事業、施設整備事業）

○ **ふくしま海洋科学館（アクアマリンふくしま）の管理運営〔再掲〕（生涯学習課）【435,806千円】**

海に関する文化・科学の学習機会を提供するための拠点施設として設置したふくしま海洋科学館（アクアマリンふくしま）の維持管理、展示資料等の更新に資する事業を支援しています。（施設の維持・管理運営事業、利用料金免除補助事業、施設修繕事業）

○ **震災・原発災の経験・教訓、復興状況伝承事業（生涯学習課）【4,665千円】**

未来を担う子どもたちが、ふるさと「ふくしま」において、復旧・復興に取り組む個人や団体に対し、これまでの努力や成果、今後の夢や目標等について取材します。これをもとに、子どもたちが自ら考え、自分の思いや取材した内容を新聞記者等の指導を受けながら、新聞にまとめ、発信することにより、自分たちの住む「ふくしま」の良さを知るとともに、自分の将来の夢や希望を深く考えさせる機会とします。

- 開催日 令和3年3月13日（土）、14日（日）及び27日（土）予定
- 場所 令和3年3月13日（土）小高生涯学習センター  
14日（日）いわき海浜自然の家  
27日（土）富岡町学びの森 ※新聞発表会
- 参加者数 小学校高学年～高校生 受講者20名

【学校における伝統や文化に対する教育の充実、学校における文化・芸術活動の活性化に関する取組】

○ **うつくしま電子辞典（教育庁義務教育課）【予算なし】**

本県の豊かな自然及び歴史や風土が育んだ人物や文化等の様々な情報を収録し、小・中学生向けの教育用コンテンツとして整備したうつくしま電子事典を教科等の学習に活用できるようにしています。

○ **伝統や文化に触れる機会の充実（教育庁義務教育課）【予算なし】**

小・中学校の社会科や総合的な学習の時間等において、地域の伝統や文化についての学習の充実を図っています。



○ **美術館・学校教育連携協議会事業（教育庁社会教育課）【137千円】**

学校教育における文化活動を促進するため、県立美術館と学校との連携の下、現在活躍する作家や作品とふれあう機会を設けて、美術に対する子ども達の関心や意欲を高める学校連携共同ワークショップを開催しています。

【子どもの読書活動の推進に関する取組】

○ **ふくしまの未来をひらく読書のカプロジェクト（教育庁社会教育課）【3,008千円】**

子どもに読書の楽しさを実感させ、生涯にわたる望ましい読書習慣を形成するため、学校図書館や子どもの読書活動を支援するボランティアを養成しています。

【将来の文化の担い手の育成に関する取組】

○ **伝統文化親子教室事業（文化庁）【窓口：文化振興課】**

子どもたちに対して、民俗芸能、邦楽、日本舞踊、茶道、華道などの伝統文化に関する活動を体験・習得できる機会を提供しました。（採択団体：18団体）

## 指標の進捗状況

指標名	計画策定時の 現状値	直近値	目標値
青少年の県総合美術展覧会への 出品数	H24年度 102点 【参考】 H22年度 185点	R2年度 0点  ※中止	R2年度 250点以上
青少年の県文学賞への応募数	H24年度 38点 【参考】 H23年度 73点	R2年度 69点	R2年度 55点以上

## 令和3年度の取組予定

- 第75回福島県総合美術展覧会〔再掲〕（文化振興課）【15,770千円】
- 第74回福島県文学賞〔再掲〕（文化振興課）【4,046千円】
- 第15回声楽アンサンブルコンテスト全国大会〔再掲〕（文化振興課）  
【19,278千円】
- 第60回福島県芸術祭〔再掲〕（文化振興課）【1,000千円】
- アートによる新生ふくしま交流事業〔再掲〕（文化振興課）【16,201千円】
- 福島県文化センターの管理運営〔再掲〕（文化振興課）【321,278千円】
- ふくしま海洋科学館の管理運営〔再掲〕（生涯学習課）【531,036千円】
- 震災・原発の経験・教訓、復興状況伝承事業（生涯学習課）【6,392千円】
- うつくしま電子辞典（教育庁義務教育課）【予算なし】
- 伝統や文化に触れる機会の充実（教育庁義務教育課）【予算なし】
- 伝統文化親子教室事業（文化庁）
- 美術館・学校教育連携協議会事業（教育庁社会教育課）【137千円】
- ふくしまの未来をひらく読書の力 プロジェクト（教育庁社会教育課）  
【3,114千円】

## 推進施策4 文化活動を行う拠点の機能の充実

県民の誰もが利用しやすい文化施設等の運営の充実や、文化施設相互間の連携の促進を図るとともに、日常生活の中で気軽に文化活動の発表や交流を行う場を確保します。

- (1) 文化施設の機能の充実
- (2) 文化施設等における運営等の充実
- (3) 文化施設相互の連携の促進
- (4) 文化活動の発表や交流の場の確保

### 令和2年度の主な取組

【県文化センター、まほろんの中核的機能の充実、地域の文化施設の機能の充実、県立文化施設における展示・企画等の充実に関する取組】

#### ○ 福島県文化センターの管理運営【再掲】（文化振興課）【579,625千円】

県民の芸術及び文化の振興を図るために設置した福島県文化センターの維持管理、芸術の振興に資する事業を支援しています。（施設の維持・管理運営事業、利用料金免除補助事業、施設整備事業）

#### ○ ふくしま海洋科学館（アクアマリンふくしま）の管理運営【再掲】（生涯学習課）【435,806千円】

海に関する文化・科学の学習機会を提供するための拠点施設として設置したふくしま海洋科学館（アクアマリンふくしま）の維持管理、展示資料等の更新に資する事業を支援しています。（施設の維持・管理運営事業、利用料金免除補助事業、施設修繕事業）

#### ○ 福島県文化財センター白河館（まほろん）の管理運営（教育庁文化財課）【274,801千円】

文化財等の保管・活用により、県民の文化の振興に資するため設置した福島県文化財センター白河館（まほろん）の維持管理を行うとともに、国民の財産である文化財の保存・公開・活用を通して文化財保護思想の普及啓発を図るための事業を展開しています。（施設の維持・管理運営事業）



○ **美術館・博物館の整備・充実（教育庁社会教育課）【807,206千円】**

常設展・企画展・教育普及事業の充実を図るとともに、利用者の視点に立った施設運営を図っています。（施設の維持・施設運営事業）

【文化施設等相互間のネットワーク化の促進、県立文化施設相互の連携の促進に関する取組】

○ **アートによる新生ふくしま交流事業〔再掲〕（文化振興課）【13,123千円】**

ワークショップ等アート事業の企画、展示等において、県立美術館や県立博物館などの県立文化施設と各地域の文化施設が連携し、それぞれの専門性やネットワークを活用しながら実施しています。

## 指標の進捗状況

指標名	計画策定時の 現状値	直近値	目標値
県立美術館の入館者数	H23年度 103,960人 【参考】 H22年度 140,366人	R元年度 167,502人	R2年度 120,000人以上
県立博物館の入館者数	H23年度 82,048人 【参考】 H22年度 95,556人	R元年度 105,439人	R2年度 100,000人以上
福島県文化センターの入館者数	H23年度 62,929人 【参考】 H22年度 314,413人	R元年度 304,275人	R2年度 345,800人以上
アクアマリンふくしまの入館者数	H23年度 258,244人 【参考】 H22年度 861,326人	R元年度 533,459人	R2年度 900,000人以上
まほろんの入館者数	H23年度 22,528人 【参考】 H22年度 28,231人	R元年度 23,679人	R2年度 30,000人以上

## 令和3年度の取組予定

- 福島県文化センターの管理運営 [再掲] (文化振興課) 【321,278千円】
- アートによる新生ふくしま交流事業 [再掲] (文化振興課) 【16,201千円】
- ふくしま海洋科学館 (アクアマリンふくしま) の管理運営 [再掲] (生涯学習課) 【531,036千円】
- 福島県文化財センター白河館 (まほろん) の管理運営 (教育庁文化財課) 【316,315千円】
- 美術館・博物館の整備・充実 (教育庁社会教育課) 【155,697千円】

## 推進施策5 伝統文化の継承及び発展

東日本大震災、原子力災害の発生や少子高齢化など急速な、急激に変化する中、伝統文化を次代に引き継いでいくとともに、積極的に活用し発展させます。

- (1) 伝統文化の継承と発展
- (2) 文化財の保存と活用

### 令和2年度の主な取組

【伝統文化の後継者の養成、警戒区域等に所在した民俗芸能等の担い手等の育成、伝統文化を発展させる取組みの支援に関する取組】

#### ○ 「地域のたから」民俗芸能総合支援事業【再掲】【21,074千円】

##### ● 民俗芸能公演事業

民俗芸能の継承を図るため、「ふるさとの祭り」を開催し、震災等の影響により、公演の機会のない民俗芸能団体を中心に芸能披露の場を提供しております。

例年は、イベント形式で開催しておりましたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、各団体の元に出向き、本来披露する場所等で撮影を行い、収録した映像を県公式媒体での配信や道の駅等の公共施設で発信します。

(収録団体数：20団体)

加えて、ふるさとの祭り新聞を発行し、県内外の避難者等へ配布します。



芸能披露撮影の様子

##### ● 民俗芸能復興サポート事業

専門家との連携により、芸能団体の活動再開から継続、担い手の育成まで、各団体の実情に応じた総合的、一体的な支援を行っています。

#### □ 説明会・研修会 計11回(1月～3月)

芸能団体等を対象として、活動再開や継続に向けた情報提供や助言指導を行うとともに、行政担当者を対象に継続への課題や地域における取組事例など情報提供、共有しています。

#### □ 民俗芸能ワークショップ 3回(2月～3月)

一般の方向けに、民俗芸能に使用する面の解説、面彫り体験を開催します。

□ 個別訪問50団体（12月末現在）

芸能団体を専門家が訪問し、個別具体的な助言指導を行っています。



継承者研修会

【伝統文化の保存・活用、伝統的技術、技法の継承、伝統文化に親しむ機会の拡充、伝統文化の理解の促進、伝統文化を発展させる取組みの支援、重要な文化財の指定による保存と活用に関する取組】

○ **福島県文化活動継続支援事業〔再掲〕（文化振興課）【22,000千円】**

公益財団法人福島県文化振興財団に対し、文化団体及び個人が感染症対策を講じながら実施する文化活動へ助成した経費を補助し、新型コロナウイルス感染症の影響により活動自粛を余儀なくされた文化活動の継続を支援しています。

○ **新型コロナウイルス感染症対応助成事業〔再掲〕**

**（公益財団法人福島県文化振興財団） 《上記事業22,000千円の内数》**

県民の文化活動が自主的に活発に推進されるよう、個人または文化団体等の活動を援助・奨励し、本県文化の普及、向上、保存を図っています。

〔助成対象事業〕

感染症対策を講じながら実施する文化活動の成果発表事業 ほか

○ **助成事業〔再掲〕（公益財団法人福島県文化振興財団）**

**《助成内示額 10,055千円》**

県民の文化活動が自主的に活発に推進されるよう、個人又は文化団体等の活動を援助・奨励しています。（伝統文化の保存・継承・発展事業に対する助成）

【学校における伝統文化に関する教育の充実、子どもたちの地域の伝統文化を愛するところの醸成に関する取組】

○ **うつくしま電子辞典【再掲】（教育庁義務教育課）【予算なし】**

本県の豊かな自然及び歴史や風土が育んだ人物や文化等の様々な情報を収録し、小・中学生向けの教育用コンテンツとして整備したうつくしま電子事典を教科等の学習に活用できるようにしています。

○ **伝統や文化に触れる機会の充実【再掲】（教育庁義務教育課）【予算なし】**

小・中学校の社会科や総合的な学習の時間等において、地域の伝統や文化についての学習の充実を図っています。

○ **伝統文化親子教室事業【再掲】（文化庁）（窓口：文化振興課）**

子どもたちに対して、民俗芸能、邦楽、日本舞踊、茶道、華道などの伝統文化に関する活動を体験・習得できる機会を提供しました。（採択団体：18団体）

【重要な文化財の指定による保存と活用、災害時の文化財に関する取組】

○ **指定文化財保存活用事業（教育庁文化財課）【17,751千円】**

文化財の保存と活用を一体的に図るため、文化財の修復等保存事業と公開等活用事業を実施する場合に、補助金を交付しています。（国指定文化財：4件、県指定文化財：9件）

- 国指定 国庫補助残に応じて定額
- 県指定 1 / 3

○ **被災ミュージアム再興事業（教育庁文化財課）【4,036千円】**

旧警戒区域の各歴史民俗資料館等に保管されていた文化財等資料について、県文化財センター白河館（まほろん）に設置した仮保管施設において、目録の整理や修理・安定化の作業を実施し、安定した環境下での維持・管理を行っています。



## 指標の進捗状況

指標名	計画策定時の 現状値	直近値	目標値
地域伝統芸能交流会参加児童生徒数（ふるさとの祭り参加児童生徒数）	H24年度 40人	R2年度 78人 (延べ 387人)	R2年度 延べ 360人以上
まほろんの入館者数	H23年度 22,528人 【参考】 H22年度 28,231人	R元年度 23,679人	R2年度 30,000人以上
被災文化財の修復件数の割合	H23年度 25%	R元年度 100%	R2年度 100%

## 令和3年度の取組予定

- 「地域のたから」 民俗芸能総合支援事業〔再掲〕（文化振興課）【20,356千円】
- 助成事業〔再掲〕（公益財団法人福島県文化振興財団）
- うつくしま電子辞典〔再掲〕（教育庁義務教育課）【予算なし】
- 伝統や文化に触れる機会の充実〔再掲〕（教育庁義務教育課）【予算なし】
- 伝統文化親子教室事業〔再掲〕（文化庁）
- 指定文化財保存活用事業（教育庁文化財課）【20,571千円】
- 被災ミュージアム再興事業（教育庁文化財課）【4,930千円】

## 推進施策6 生活文化の充実

すべての県民が「ふくしま」独自の資源を活かした快適な生活の実現や、「ふくしま」らしい暮らしの充実を図ります。

### 令和2年度の主な取組

【県民運動の推進、安全で安心な暮らしの充実に関する取組】

#### ○ チャレンジふくしま県民運動（文化振興課）【49,873千円】

「健康ふくしま みんなで実践！」をテーマに、県民一人一人が身近なところから心身の健康に向けた取組を実践し、その取組を通して地域の交流・賑わいにつなげることで、「人も地域も笑顔で元気」な「ふくしま」の実現を目指すため、県民へ健康への気付きや実践の機会の提供等を行いました。

##### □ ウォークビズ推進

ウォークビズ（健康づくりのため、歩きやすい靴での通勤等を推奨する取組）推進のため、新聞広報やCM放映、youtubeなどで県民に実践を促しました。

##### □ ベジ・ファーストの推進

ベジ・ファースト（食事の際、野菜から食べ始める食事法）を推進するため、新聞広報を行いました。

##### □ ヘルシーメニューの提供

県内企業等において、塩分摂取量や脂質を減らし、野菜摂取量を増やすなどしたヘルシーメニューを提供しました。

##### □ 県民運動関連イベント等との連携

構成団体・市町村・その他民間団体が開催する健康づくりに関するイベント等と連携し、県民運動の全県的な展開を図るとともに、ふくしま健民アプリのポイント付与や情報発信を行い、県民の日常的な健康づくりを促しました。

#### ○ 公益信託うつくしま基金（文化振興課）

県民参画による地域づくりを支援するため、公益的活動を実施する団体、グループ、個人に対して、うつくしま未来博成果継承基金をもとに、助成を行いました。

#### ○ ふるさと・きずな維持・再生支援事業（文化振興課）【116,872千円】

東日本大震災及びそれに引き続く原子力災害からの本県の復興等に向け、復興支援や被災者支援等を行っています。NPO法人等による取組を支援することにより、高い運営力を有するNPO法人等を育成し、復興や被災者の支援の促進を通して、本県のきずなの維持・再生を図っています。（補助対象者：22団体）



【芸能、国民娯楽等の普及に関する取組】

○ **福島県文化活動継続支援事業〔再掲〕（文化振興課）〔22,000千円〕**

公益財団法人福島県文化振興財団に対し、文化団体及び個人が感染症対策を講じながら実施する文化活動へ助成した経費を補助し、新型コロナウイルス感染症の影響により活動自粛を余儀なくされた文化活動の継続を支援しています。

○ **新型コロナウイルス感染症対応助成事業〔再掲〕**

**（公益財団法人福島県文化振興財団） 《上記事業22,000千円の内数》**

県民の文化活動が自主的に活発に推進されるよう、個人または文化団体等の活動を援助・奨励し、本県文化の普及、向上、保存を図っています。

〔助成対象事業〕

感染症対策を講じながら実施する文化活動の成果発表事業 ほか

○ **助成事業（公益財団法人福島県文化振興財団）〔再掲〕**

**《助成内示額10,055千円》**

県民の文化活動が自主的に活発に推進されるよう、個人または文化団体等の活動を援助・奨励し、本県文化の普及、向上、保存を図っています。

○ **伝統文化親子教室事業〔再掲〕（文化庁）（窓口：文化振興課）**

子どもたちに対して、民俗芸能、邦楽、日本舞踊、茶道、華道などの伝統文化に関する活動を体験・習得できる機会を提供しました。（採択団体：18団体）

○ **ふくしま未来キッズワクワクプロジェクト（教育庁社会教育課）〔14,267千円〕**

自然の家においてアスレチック等様々な体験活動を楽しめる事業を開催し、自然体験や体を動かすことの魅力を伝え、体力向上や健康増進につながる機会を提供しました。

## 指標の進捗状況

指標名	計画策定時の 現状値	直近値	目標値
NPOの法人認証件数	H23年度 累計 631件	R2年度 累計 919件 (R2.11.30現在)	R2年度 累計 1,055件以上
地域住民やNPO等による地域 づくり活動に積極的に参加して いると回答した県民の割合	H24年度 15.2%	R2年度 16.8%	R2年度 上昇を目指す

## 令和3年度の取組予定

- チャレンジふくしま県民運動（文化振興課）【40,025千円】
- ふるさと・きずな維持・再生支援事業（文化振興課）【108,556千円】
- 助成事業〔再掲〕（公益財団法人福島県文化振興財団）
- 伝統文化親子教室事業〔再掲〕（文化庁）
- 未来キッズ生き生き事業（教育庁社会教育課）【14,267千円】

## 推進施策7 文化の交流の推進

地域やジャンルを越えた多様な文化交流を推進するとともに、本県文化を全国に発信し、交流の拡大につなげます。

- (1) 広域的、国際的な文化交流の促進
- (2) 文化の発信と交流の拡大

### 令和2年度の主な取組

【国内外の文化交流の促進、文化交流による新しいイメージの発信、国際文化交流の促進、全国規模の文化交流イベントの開催、本県の文化特性を活用した文化交流の推進に関する取組】

○ **第14回声楽アンサンブルコンテスト全国大会〔再掲〕（文化振興課）**  
**【18,713千円】**

全国トップレベルの声楽アンサンブルグループによるコンテストを開催し、音楽文化の更なる発展を図るとともに、歌うことの楽しさや「合唱王国ふくしま」を全国に発信します。（第14回大会出演団体数：約120団体（予定））

○ **福島県文化活動継続支援事業〔再掲〕（文化振興課）【22,000千円】**

公益財団法人福島県文化振興財団に対し、文化団体及び個人が感染症対策を講じながら実施する文化活動へ助成した経費を補助し、新型コロナウイルス感染症の影響により活動自粛を余儀なくされた文化活動の継続を支援しています。

○ **新型コロナウイルス感染症対応助成事業〔再掲〕**

**（公益財団法人福島県文化振興財団） 《上記事業22,000千円の内数》**

県民の文化活動が自主的に活発に推進されるよう、個人または文化団体等の活動を援助・奨励し、本県文化の普及、向上、保存を図っています。

〔助成対象事業〕

感染症対策を講じながら実施する文化活動の成果発表事業 ほか

○ **助成事業（公益財団法人福島県文化振興財団）〔再掲〕**

**《助成内示額10,055千円》**

県民の文化活動が自主的に活発に推進されるよう、個人または文化団体等の活動を援助・奨励し、本県文化の普及、向上、保存を図っています。

○ **ふくしまグリーン・ツーリズム推進事業（観光交流課）【2,860千円】**

本県グリーン・ツーリズムを推進するため、各地域における情報共有や地域間連携を深める協議会を開催したり、研修会を実施するなど、風評被害を払拭し、体験交流を促進するための受入体制整備の支援を行っています。

## 指標の進捗状況

指標名	計画策定時の 現状値	直近値	目標値
グリーンツーリズムインストラクターによる受入人数	H23年 156,494人 【参考】 H22年258,392人	R元年 236,908人	R2年 290,000人以上
声楽アンサンブルコンテスト全国大会の推薦及び公募団体数	H23年度 170団体 【参考】 H21年度 176団体	R元年度 240団体	R2年度 260団体以上

## 令和3年度の取組予定

- 第15回声楽アンサンブルコンテスト全国大会〔再掲〕（文化振興課）  
【19,278千円】
- 助成事業〔再掲〕（公益財団法人福島県文化振興財団）
- ふくしまグリーン・ツーリズム推進事業（観光交流課）【2,746千円】

## 推進施策8 文化振興による地域づくり

地域の特性や様々な資源を活かした文化振興を図ることによって、人と人、人と地域のきずなを強め、地域の復興や活性化、地域づくりにつなげていきます。

- (1) 伝統文化による地域のきずなの維持、再生
- (2) 文化振興による東日本大震災等からの復興と地域活性化
- (3) 文化資源を活かした東日本大震災等からの復興と地域づくり

### 令和2年度の主な取組

【民俗芸能等の継承への支援、民俗芸能等の発表の機会の支援、民俗芸能等の再興への支援、伝統文化による震災からの復旧・復興への支援、被災地域の文化資源を活かした復旧・復興への支援に関する取組】

- **「地域のたから」民俗芸能総合支援事業〔再掲〕(文化振興課)【21,074千円】**  
存続の危機にある民俗芸能の継承・発展のため、公演の機会を提供するとともに、民俗芸能団体の実情に応じた専門家の派遣など総合的な支援を行っています。
- **福島県文化活動継続支援事業〔再掲〕(文化振興課)【22,000千円】**  
公益財団法人福島県文化振興財団に対し、文化団体及び個人が感染症対策を講じながら実施する文化活動へ助成した経費を補助し、新型コロナウイルス感染症の影響により活動自粛を余儀なくされた文化活動の継続を支援しています。
- **新型コロナウイルス感染症対応助成事業〔再掲〕**  
**(公益財団法人福島県文化振興財団) 《上記事業22,000千円の内数》**  
県民の文化活動が自主的に活発に推進されるよう、個人または文化団体等の活動を援助・奨励し、本県文化の普及、向上、保存を図っています。  
〔助成対象事業〕  
感染症対策を講じながら実施する文化活動の成果発表事業 ほか
- **助成事業(公益財団法人福島県文化振興財団)〔再掲〕**  
**《助成内示額10,055千円》**  
県民の文化活動が自主的に活発に推進されるよう、個人または文化団体等の活動を援助・奨励し、本県文化の普及、向上、保存を図っています。
- **アートによる新生ふくしま交流事業〔再掲〕(文化振興課)【13,123千円】**  
地域の活性化や子どもたちの心豊かな成長を図るため、地域住民や子どもたちが交流しながらアート事業を実施し、元気な福島の姿を発信しています。

【地域の復興や活性化、地域づくりに関する取組】

○ **NPO強化による復興創生事業（文化振興課）【30,855千円】**

復興支援等に取り組むNPO法人の自立的・継続的な活動を支援するため、総合的な相談支援窓口の設置や各種講座の実施などを行うとともに、若者を対象に県内で復興支援活動を行っているNPO法人でのインターンシップ活動を実施します。

**指標の進捗状況**

指標名	計画策定時の 現状値	直近値	目標値
観光客入込数	H22年 57,179千人 【参考】 H23年 35,211千人	R元年 56,344千人	R2年 63,000千人以上
被災文化財の修復件数の割合	H23年度 25%	R元年度 100%	R2年度 100%
学術・文化・芸術・スポーツを 活動分野のひとつとするNPO の数	H24年度 289団体	R2年度 424団体 (R2.11.30現在)	R2年度 470団体以上
市町村景観計画策定団体	H23年度 2団体 【参考】 H22年度 1団体	R元年度 5団体	R2年度 12団体以上

**令和3年度の取組予定**

- 「地域のたから」民俗芸能総合支援事業〔再掲〕（文化振興課）【20,356千円】
- 助成事業〔再掲〕（公益財団法人福島県文化振興財団）
- アートによる新生ふくしま交流事業〔再掲〕（文化振興課）【16,201千円】
- NPO強化による地域活性化事業（文化振興課）【29,301千円】